

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会予備会議・会議録

- 1 日 時 平成15年4月18日(金)
- 1 場 所 柏崎市市民プラザ・風の部屋
- 1 出席委員 浅賀・新野・加藤・川口・小山・佐藤・柴野・高橋・武本・田辺  
内藤・中沢・中村・本間・牧・丸山・宮崎・吉田・渡辺(五)  
渡辺(丈)・渡辺(洋) 以上21名
- 1 欠席委員 阿部・今井・金子 以上3名
- 1 その他出席者 新潟県原子力資源・対策課熊倉係長、柏崎市品田市民生活部長、  
西山町徳永まちづくり推進課長、刈羽村室星主査  
柏崎市布施防災・原子力安全対策課長代理  
柏崎市名塚防災・原子力安全対策課主任  
柏崎原子力広報センター鴨下事務局長
- 1 司 会 柏崎市酒井防災・原子力安全対策課長

柏崎市防災原子力安全対策課長（酒井）

御苦労さまでございます。私、柏崎市の防災原子力安全対策課長の酒井と申します。皆さんそれぞれお仕事をお持ちで、お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございました。柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会予備会、変な会でございますけれども、これまで3回準備会をやってまいりました。12月19日、1月27日、2月13日ということでやってまいりましたけれども、きょうは議題にございますように役員さんを決めていただいたり、次の日程を決めていただいたりということでやらせていただきたいと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。時間はおおむね2時間を予定させてもらっております。

それから幾つかワイヤレスのマイクがっておりますけれども、発言をされるときにはスイッチを入れて、終わりましたら切ってということをお願いをしたいと思います。

それでは今まで15名の準備会の委員さんがいらしたわけですが、新たに新しい方も仲間に入ってくださいまして、24名ということでございます。最初でもございますので自己紹介ということで簡単にお名前などを紹介していただければと思っております。名簿の並びがこちらからアイウエオ順にずっと並んでおります。お手元に資料がっておりますけれども、アイウエオ順に自己紹介をお願いできればと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

ブルサーマルを考える柏崎刈羽市民ネットワーク（浅賀）

ブルサーマルを考える柏崎刈羽市民ネットワーク、通称市民ネットと呼んでおりますが、そこで推薦されまして伺いました浅賀千穂と申します。住まいは鯨波です。いろいろ考えるところはありますが、皆様のご意見を聞きながらいろいろお教えいただきたいと思ひますし、自分の持っている意見もきちんとお話できればと思っております。よろしくお願ひいたします。

かしわざき男女共同参画プラン推進市民会議（新野）

名簿の三段目になりますが、新野良子と申します。かしわざき男女共同参画プラン推進市民会議という長い名前の会からご推薦いただいたのですが、こちらはいろいろな考えやら、いろいろな方が男女共同参画というところだけがつながって集まっています会のために、エネルギーに関することはそれぞれご意見がばらばらなのです。そこでこの代表というわけにはいかないのですが、皆様のお仲間に入れていただいて、勉強させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

西山町（加藤）

西山からまいりました加藤と申します。町の生き生きまちづくり推進課の方から話がございまして、考えた末、出てみようと思ひました。今、特別な考えを持っているわけではございませんが、お話を伺いながら、また自分でも情報を集めながら言えることがありましたら発言をしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

柏崎エネルギーフォーラム（川口）

柏崎エネルギーフォーラムの川口と申します。今、柏崎エネルギーフォーラムの会長をやってございまして、住まいの方は松波町です。よろしくお願ひいたします。

刈羽エネルギー懇談会（小山）

私は刈羽エネルギー懇談会の小山進と言います。準備会から出させてもらっております。今後ともよろしく願いいたします。

柏崎原発反対地元三団体（佐藤）

柏崎原発反対地元三団体の佐藤と申します。よろしく願いします。

荒浜21フォーラム（柴野）

荒浜21フォーラムの柴野と申します。私どもの先輩が発電所ができると同時に、荒浜をよくする会という会をつくりまして、その名前のおり先輩の方々が来られたのですが、私が会長になりまして、荒浜21フォーラムということで名前を変えまして、現在21世紀の荒浜をどうするかという大ぶろしきを広げて、今活動しているところでございます。ちなみに、地元の荒浜の住民の会員が90名弱ということで、現在活躍しております。よろしく願いいたします。

西山町（高橋）

西山町の方から推薦していただきました高橋と申します。よろしく願いします。

原発反対刈羽村を守る会（武本）

原発反対刈羽村を守る会から推薦されました武本と言います。よろしく願いします。

柏崎ニューエネルギーリサーチ（田辺）

風力発電や生ごみリサイクルをやっております柏崎ニューエネルギーリサーチの田辺と申します。よろしく願いします。

柏崎商工会議所（内藤）

柏崎商工会議所の専務理事をやっております内藤でございます。最初の準備会から3回出席をさせていただきました。

原発問題を考える刈羽西山住民の会（中沢）

原発問題を考える刈羽西山住民の会の中沢と申します。刈羽村に住んでおります。私も原発問題についてはまだまだ勉強不足なので、皆様からいろいろ教えていただいたりして、これについて考えていきたいというふうに思います。よろしく願いします。

国際ソロプチミスト柏崎（中村）

国際ソロプチミスト柏崎の中村節子でございます。女性だけのクラブで、奉仕団体でございます。いろいろ勉強させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

プルサーマルを考える医師歯科医師の会（本間）

プルサーマルを考える医師歯科医師の会をやっております本間と言います。市内の医師と歯科医師でプルサーマルの問題について考えるということでグループをつくっておりますけれども、誤解ないと思っておりますけれども、医師会と柏崎の歯科医師会とは全く別になっておりますということです。よろしく願いします。

西山町（牧）

今回から加えさせていただきました西山町の牧豊と申します。私が今住んでいるところは、西山のインターを出て2、3分のところ、原発から5.7キロと測定させていただきました。60歳まで地元不在にしておりましたが、戻ってきて原発とどうしても向き合わなければいけない、ここにいる限りこれと向き合っていかななくてはいけないというような思いを持っているところが町に聞こえたようでして、指名をいただいた次第です。よろしく願い申しま

す。

刈羽村商工会（丸山）

刈羽村商工会から推薦を受けました丸山将孝でございます。よろしくお願いいたします。

高浜地区町内会（吉田）

宮川町内会の吉田巖です。よろしくお願いいたします。

連合柏崎地協（渡辺五四六）

連合柏崎地協の渡辺と申します。よろしくお願いいたします。

西山町（渡辺丈夫）

西山町から推薦を受けました渡辺丈夫です。私は西山町の南部地区に住まいしております。東京電力さんとは西山町の中では一番近い位置にあります。どうぞよろしくお願いいたします。

荒浜地区町内会（渡辺洋一）

東京電力に最も隣接する荒浜地域から寄せていただきました。皆さんのお考えをお伺いしていきたいと思っています。よろしくひとつ。

柏崎市防災原子力安全対策課長（酒井）

どうもありがとうございました。続きましてオブザーバーということで、こちらも自己紹介ということでしていただきたいと思います。

市民生活部部长（品田）

お手元に会則をお配りしてありますけれども、この3条によりますと、行政は一応オブザーバー、もしくは説明者ということでございます。私は柏崎市の原子力発電所を所管しております市民生活部の部長をしております品田と申します。よろしくお願いいたします。

柏崎原子力広報センター事務局（鴨下）

このたび、地域の会事務局をお引き受けすることになりました柏崎原子力広報センター事務局の鴨下でございます。皆様委員の方々とのコミュニケーションを第一に考えて、事務局を務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新潟県原子力安全資源対策課安全対策係長（熊倉）

新潟県原子力安全資源対策課安全対策係長をやっております熊倉です。よろしくお願いいたします。

刈羽村企画広報課（室星）

刈羽村企画広報課室星と申します。本来であれば、きょう、課長が来る予定でございましたが、急用ができましたので本日は代理で出席させていただきました。よろしくお願いいたします。

柏崎市の防災原子力安全対策課課長代理（布施）

柏崎市の防災原子力安全対策課、原子力の安全対策を担当しております布施でございます。よろしくお願いいたします。

柏崎市の防災原子力安全対策課主任（名塚）

同じく柏崎市の防災原子力安全対策課名塚と申します。よろしくお願いいたします。

西山町まちづくり推進課長（徳永）

西山町のまちづくり推進課の徳永と言います。よろしくお願いいたします。

東京電力（菅沼）

東京電力柏崎刈羽原子力発電所広報部地域担当をしております菅沼と申します。皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、会の活動の趣旨に沿いまして東京電力としてできることを一生懸命やってみりたいと思っております。よろしく願いいたします。

柏崎市防災原子力安全対策課長（酒井）

以上で委員の皆様、オブザーバーの自己紹介を終わらせていただきます。委員の皆様で、きょうご欠席ということで連絡をいただいておりますのが、ＪＣの阿部さん、コミュニティ協議会の金子さん、それからＪＡの今井さんの３人の方からは欠席というご連絡をいただいております。まだお１人お見えになっておりませんが、会を始めさせていただきたいと思っております。

それでは、会の趣旨確認ということで、部長の方からお願いします。

市民生活部長（品田）

事前にこれ（資料）をお配りをさせていただきました。準備会を、先ほど進行の方から話がありましたように、３回ほど旧年度中、２月までに終わらせて、何とか設立にこぎつけたというところでありまして、そのときのメンバーの皆さんは議論のやりとりは十分ご承知だというふうに思います。それ以外に新たにこの会にメンバーとしてお入りをいただきましたその他の方々、これ（議事録等資料）を委員をお願いする際にお配りをしてお目通しをいただいているものというふうに理解をいたしておりますけれども、時間の都合もありますので簡単に基本的な認識といえますか、ご理解をもう一度させていただきたいということで、この会則に従いまして、少し説明をさせていただきたいというふうに思っております。

会則１条にはごらんをいただくように、この会の目的が書いてあるわけでありまして、字のとおりでございますけれども、平たく言いますと、今回のような不正事件の再発をしないように、この地域の住民の皆さんの各層の目で確認、監視をしていただいて、原発の安全を確保するというを目的として掲げておるわけでございます。したがっていろいろな意見を言っていただきまして、一方的に、推進するとか、ブレーキをかけるとか、そういうことの目的ではないということが確認をされておりますし、またそうした権限を持つ会ではないということでもございますので、まずこの点をご理解を共通にしておきたいというふうに思っております。

委員は２５人ということで、現実には２４名でございます。１人欠員ということでございますけれども、ちょっと人選に手間取っているということも一つございまして、２４人でスタートさせていただきたいというふうに思っております。

オブザーバーは私ども行政、それから事業者等ということで予定をさせてもらっております。私どもの方で十分説明なりをさせていただく。意見交換のときに我々としても求められれば意見を申し上げる場面もあろうかと思っております。

それでは何をやるのだということでもありますけれども、これが４条から６条ぐらいまでに項目として掲げてあります。これも会則を一々読みませんが、先ほどの目的を達成するために必要な、平たく言いますと意見交換とか、提言とか、それから情報共有の場である - あるいは必要な研修も行なうというようなことであります。

それから特に第５条なのですが、お互いに自分の意見は十分言っていて結構であります。委員はお互いの意見を尊重しながら、かつ自分の意見には責任を持つ発言をしていただくということでもあります。例えば、今、原子力発電所とまっておりますけれど、そ

の運転の是非とか、止めるとか、動かせとかという権限とか責任というのは、この会にはややそぐわないというふうに思っております。いろいろな意見を言うお考えとか立場とか、あるいは大変失礼な言い方もかもしれませんが、原発等に対する知識の認識にも差があるという集まりだというふうに理解をしておりますので、そこまで権限や責任を負わせることは適当でないというようなことで、合意がされたということでもあります。ただし、安全確保についての提言とかは会としてはできる。事業者等は、その意見、提言を十分尊重するようなことは当然前提でありますし、聞かれたことには情報開示、説明等は十分していくというのは、これはこの会の成り立ちから当然のことであるというふうに理解をしております。

そういうことでこの会は設けられたということをご認識をまた新たにさせていただきまして、この会がスムーズに行くように、ぜひご協力をお願いをしたいと思います。

柏崎市防災原子力安全対策課長（酒井）

続きまして、議題の5、今後の会の進め方でございますけれども、本来であれば会長さん、副会長さんを選任をして、会長さんの方から議長ということでございますけれども、まだそこまで決まっております。きょう、しばらくの間、部長の方から進行をさせていただくということで、よろしいでございましょうか。

市民生活部長（品田）

それでは仮の進行役ということで今日は進めさせていただきたいと思っております。申しわけございません、座らせていただきたいと思います。

きょうの会の趣旨は、予備会議ということで、ほんちゃんではないということでもあります。第1回目を近々といいますか、実は3月末にも発足をしたいというふうに最後の準備会の時に申したいわけでございますけれども、いろいろな事情もございまして、きょうまで延び延びになってしまいました。きょうもレジュメに書いてありますように、幾つかの会を運営する上で必要な事項を定めたいということでもあります。一般的には事務局が整理をしまして、これでいくということで第1回目の案内ということで、差し上げるということも可能性としてあるわけでございますけれども、ポイントになることは幾つかありまして、それは皆さんでご議論いただいて決めて、第1回目に移りたいというふうに考えております。という、格好はいいわけですが、要するに事務局でまとめきれなかった部分があるというのが正直なところもありますので、ぜひまた皆さんのご意見を伺って、第1回の定例会の発足にこぎつけたいというふうに思っております。大変そういう意味で貴重な時間を、ご多忙の、それぞれの皆さんお集まりいただいて、ばかにしたようで恐縮なのですが、ぜひあしからずご理解をいただきたいと思います。

それで5の(1)でありますけれども、会長等の選出ということになっております。まず会長を規約では設けるということになっております。8条、9条にそのことが書いてあるわけがあります。会を代表するということでもありますし、あわせてこの会の議事進行をつかさどる議長を兼ねるということになっております。実はこの人選に非常に頭を悩ませたというのが現状であります。そのことだけではないのですけれども、例の保安院とか、東京電力の説明会等もあって、そちらの方にも事業者さん始め、忙殺されていたという経過もありますけれども、この議長の人選に実は大変私どもとして神経を使いました。それが3回目の準備会から今日まで時間があつたという大きな理由の一つでもあります。

今ほど申しましたように、まず会長、副会長を定めたいというふうに思っております。会

長が議長を務めるという書き方になっておりますが、そういうことと、特例としまして会長の指示があれば、その指名したものが、つまり会長以外のものでも議事の進行役にはなれるというような規定もされているところでもあります。私どもとしましては、かなり進行していただくには骨が折れるなというふうに考えておりました、例えば前の準備会でも出ましたように、持ち回りでどうだという意見もありましたし、例えば2人で議長を務めていただくというようなこととか、いろいろ考えていたわけではありますが、そこらも含めてちょっとお諮りをさせていただきたいというふうに思っています。

一応、事務局としての案は持っております。差し支えなければお示しをした上で、それをたたき台にして、またお諮りをさせていただくことも可能ではありますが、いかがでございましょうか、そういうふうにさせていただくということによろしいですか。

柏崎商工会議所（内藤）

ちょっと事務局が先走りすぎるような気がするものだから、意見を言わせてもらいたいのですが、いいですか。

事務局が決めているのだから勝手なことはするなというのならしないし、いいですか。

この前の第3回のときも15人の方がいらっしゃって、私も発言した覚えがあるのだけれど、この会はほかの趣味の会とは違うので、みんなの認識が議長役が大変な負担をこうむるということをもみなそういう認識をされているはずだったのです。私もそう思いましたし、15人の方々もそうだったのだなというふうに、そしてああでもない、こうでもない、こういう人をどうだということで、なかなか論が乾かないで、先送りしたわけだったわけです。きょう、事務局、具体的な名前をお持ちだろうと今部長の説明から推察はできるけれど、具体的な名前が出たら、これは反対なんかできませんよ。その人に対して失礼ですから、だから名前が出ない前に言わせてもらいたいのだけれど、会則に書いてあると言っても、こんなものは憲法でも何でもないので、この会のみんなが変更しようと思えばいつでも変更できる。準備会で確認してあるから、これでいこうということになっているのであって、会長がいなければこの会が進まないのかどうなのか、あるに越したことはないけれど、非常に人選が難しいという部長自身も今まで言っていたはずだし、そういう中で無理やり決めて、会長と議長は違うのだという、会で会長を決めたら会長が議長をするのが当たり前のことなのです。それができないような会長ならなぜ決めなければならないのか。いろいろこうやって見ると相当矛盾が出てくるのです。

したがって、私の言いたいのは、何もここで拙速に、きょうも初めて25人の顔合わせをして、どういうお考えで、特に原子力発電所という問題についてそれぞれみんながどういう考えを持っているのか、どういう立場なのか、自己紹介ぐらいではわからないわけです。だから、例えば2回とか、3回とかやっていって、それぞれの委員の方々の、会員の方々の気持ちがあわかってきたり、またいろいろな話し合いをする過程で、マル・バツの全く正反対の考えの方もいるかと思えますけれども、そういう回を重ねることによって、根本は譲らないにしても気持ちの上では同じ市民だからという意識が、回を重ねるにしたがって私は芽生えてくると思うのです。だからそのときまで待ったらどうかと。永遠にということではなくて、2回とか、3回とか、4回とか、それぐらい回を重ねたときに初めて、みんなの中からだれか代表になって大変だろうけれどもお願いしますよと。そういう空気に私はなると思いますので、その辺までとっておいて、もっと気持ちが練れてからお互いの気持ちがわかるように

なってから、選んできていいと思います。そうになったら原発に賛成だとか、反対とか、余りそういうことにこだわらなくなるのではないかなと、私は気持ちがしますので、その時に改めて決めればいいのであって、ただ議長役がいなくなるわけでありますので、これは困りますから、この前も3回目の会合のときにも私が発言したとおり、ここで言えば品田部長あなたから、それまでの間、そう長くはならないと思うけれど、議長役を務めてもらって、そしてみんなの気持ちをほぐすような役割をあなたからやってもらって、そしてそういう時期がきたら、あなたがお考えになっている、事務局案あるのであればそのときに出していただいて、多分そうなれば、どなたを腹案かわかりませんが、立派なきつと人選だと思いますから、そのときにみんなで全員の拍手でなっただけの方が私はいいいのかなと。今、だれがどんな考えを持っているのか、それぞれわかりません。私も一部の方しかわかりませんし、そういう中で選ぶのは乱暴だし、その人に対しても大変ご迷惑な話だと私は思います。以上です。

市民生活部長（品田）

というご意見でございます。24人それぞれ各分野で活躍をされていらっしゃる方なので、どなたがなられても私どもは問題なく運営はしていただけるというふうに思いますけれども、そういうことでやや拙速にいくと、しばらくは様子を見て、その間は行政なら行政がやれと、進行役を務めてその後に熟したらというのが内藤委員のご意見でございました。私ども、これは通例の会議ではありませんので、事務局案ということで持っておりますけれども、皆さん今のご意見も含めまして、十分ご審議といえますか、お考えをお聞かせいただければありがたいと思います。

柏崎エネルギーフォーラム（川口）

私もこの会に今日、初めて出させてもらったので、正直な話、どなたがどういう考え方で出席しているのかもわかりませんし、今、内藤委員がおっしゃったように、しばらく、書いてある以上は会長は必要なわけですから、会長は設けるのは当たり前なのですけれども、やっぱり何回か会議をやった後に内藤さんの言うように決めて、それまでは事務局の方で議長を務めていただいた方がいいというので、内藤委員の意見に賛成です。

市民生活部長（品田）

意見交換をするこういう場のしつらいが月1回程度ということで定められていますので、こういう場で、それこそ例えば今お話があったように、私なら私がということであれば、こういう場そのものは設営はできるというふうに思いますけれども、内藤委員は拙速というふうにおっしゃいましたが、会の親方というのは設けておいた方がいいなというふうには、個人的には感じております。

どうですか。

西山町（高橋）

私も内藤さんが言われたように、全く趣味の会とか考え方を一つに、みんな同じ意見を持っている人の会ではないわけです。こういうふうに品田部長が皆さんに問いかけしても、なかなか手を挙げて発言するという人がいないわけでしょう。だから、どうしても会長、副会長を決めなければだめだったら、その必要のときに決めればいいではないですか。とりあえず今決めなくても会の運営はやっていけるわけでしょう。

だから、こういう今日みたいな会議の中で、いろいろ皆さんから意見が出て、会の意見と

して例えば事業所に提言するのだったら提言する。そういう形式をとっても決しておかしくはないと思うのです。始めから会長、副会長を決めて、その会長の名前を書いて、書類で提出するとか、そういうことではなくて。ということで。

市民生活部長（品田）

1回目もそうだったのですけれども、慣れてくるとだんだん舌も滑らかになってきて、もっとしゃべらせろというようなことになってくれるというふうに思っていますので、ちょっと初回で皆さんも発言が出にくいのかなというふうに思っています。

今、ご発言があった3、4名の方はもうちょっと先でいいのではないかというご意見でありました。事務局案をگری押しするのめいかかというふうに思いますので、ほかにご意見がなければちょっと持ち帰りたいというふうに思っています。今ここで、私の方で断定的に、ご意見がありましたように、私とか行政がやるということはちょっと即答は避けさせていただきたいと思いますが、それでよろしいですか。特に意見がなければそうさせていただきます。

内藤さん、今、ここでお前受けれということでもよろしいですか。今日は進行いたしますが、皆さん十分どなたでもできると思いますよ。

柏崎商工会議所（内藤）

品田さんが云われたとおり、大変だと思います。取りまとめ役として会長が議長をやるということなのだから、それをあなたは会長はあらかじめ議長を自分で別の人に指名してなんて、それだったら別に会長なんか始めからいらないので、きちっとした会長をつくるのであれば、その会長が議長をきちっとやればいいのであって、やらなければならないのであるのだけだ。だから、もうしばらくこの会が重なるとどなたでもいいという雰囲気になるのだろうと私は思います。私はそういうふうに思っています。

市民生活部長（品田）

ということで、きょうの皆さんのご意見がそうだとということで理解をさせていただきます。よろしいでしょうか。

申しわけありませんが、会長の人選についてはまた持ち越しということになります。そうはいいいましても、日程の都合もありますので、次回までにはどうするかというのはちょっと皆さんの方では、事務局といえますか、こちらの方で今後も、しばらくといえますか、2、3回はやってくれということだということですので、とりあえず承って持ち帰らせていただきたいというふうに思っております。

それから、実は会長が決まりましたら形式的だったのかもしれませんが、この（2）で広報の仕方というあたりを決めていただこうかなというふうに思っていたのですが、これは別に会長がいなくても、事務局サイドでできます。また、ですけど会として広報をするということになりますので、これは少し形を決めておきたいなというふうに思っております。ここに用意しましたように、 から あたり、 は会議録はこういう会合をやるたびに つくって、お知らせをするということが当然であります。それから情報誌も定期的に出してはいかがかというふうに思いますし、ホームページも作製をして、広報しようというふうに考えておりますので、これについてどんなところを頭に事務局として案があるのかというのを若干ご説明をさせていただきたい。それから には、一応事務局がつくって、ぱっと流すのではなくて、委員の皆さんからチェックをかけていただくというとあれですが、公平の目で複数の方に見ていただいた後に出したいというふうに思っておりますので、そこらを、事務局

の方から説明をさせていただきます。この レジюме、広報委員会の設置と。後ろの今後のテーマについては誤植ですので、削ってください。

柏崎市（名塚）

座って説明させていただきます。地域の会の第4条の任務のところでは3号で、会の議論、活動等の住民への情報提供ということがございまして、地域住民に情報提供することは地域住民の理解を助けると共に、そうした活動によりまして、地域住民の皆さんから支持を得て、会の存在意義を高めることにもつながるということで、そういう意味で広報は重要な役目を担っているのではないかと思います。

まずそのうちの一つとしまして会議録がございます。会議録につきましては、準備会でご出席なさった方はご承知かと思えますけれども、あと新しい方にもお手元に準備の会の議事録がいつているかと思えますけれども、この会で発言した内容につきましては、きちんと録音をさせていただいております。この会議内容の録音したものを業者の方に送りまして、テープ起こしをさせていただきまして、一言一句をきちんと記録として残させていただくようになっております。大体テープ起こしの方が1週間ぐらいで完成しまして、これをまた事務局の方で発言者のお名前等を入れて、初原稿が一応完成しましたあとに、発言内容について誤りがないか、一応皆さんからチェックをしていただいたあと、最終的に確認をしていただくようになります。チェックが終わりましたら、なるべく早く会議の内容を市民、一般の皆さんにお知らせした方がいいということで、ホームページに掲載をさせていただきたいと思っております。この際は、当日お配りしました資料なんかと一緒に公開させていただきたいと思っております。

またあとでホームページのところでも詳しくご説明させていただきますけれども、形としましてはPDF形式という、無料でソフトをダウンロードすればだれでもパソコンのインターネットをお使いの方ですと自由に閲覧ができるというようなソフトでございまして、例えばワードがなければ見れないとか、一太郎がなければ見れないとか、そういうのではなくて、一般的に見れるような形で公開したいと思っております。

それから会議録につきましては、発言者のお名前を入れさせていただくことになっております。

続きまして情報誌でございますけれども、こちらで考えておりますのは、予算的には1年間に6回ぐらい情報誌といいますか、広報誌を発行したいと考えております。ボリューム的にはA4版のカラーの12ページぐらいということで、今の原子力広報センターの方から原子力だよりということで定期的に発行させていただいておりますけれども、その程度のボリュームになるかと思えます。したがって、定例の会議は年に12回行われる予定になっておりますけれども、2カ月に1度ぐらいの割合で発行になるのかというふうに今考えております。内容的には、なるべくわかりやすく、市民の皆さんにお知らせしたいということで、文字も大きなもので、読みやすい、わかりやすいもの、写真とか図を多く取り入れて親しみやすいものにしたいと考えております。内容につきましては、基本的には会議録をもとにし、事務局の方でそれにあわせて編集をさせていただきたいと思っております。案ができ上がった段階で、後ほど説明させていただきます広報委員会の方で検討、チェックをお願いしたいと思っております。この広報誌につきましては、配布につきましては柏崎市、刈羽村、西山の各戸配布をしたいと考えております。各行政で広報誌を定期的に配布をして

いると思いますけれども、それにあわせて配布をしたいと考えております。

それから発行すると同時に、今の原子力だよりも同様ですけれども、ホームページで同じ内容を掲載したいというふうに考えております。あと、また少し余計につくりまして、多くの方が集まるような場所において、自由に取っていただくような形も考えております。

それからホームページにつきましてですが、これにつきましてはお手元に素案といいますか、表がカラーであと中の方に白黒で、お手元に資料ということでお配りしてありますけれども、これにつきましては申しわけございませんけれども、中身につきましては準備会の時点の素案でございます、今の状況を反映し切れていないところがございますので、表現等が少し不適切なものがございますけれども、ご容赦願いたいと思います。正式に開設するに当たりまして、後ほど説明いたします広報委員会におきましてまた検討とかチェックとかをお願いしたいというふうに考えております。

このもとにつきましては業者に委託をしまして、作成したものでございます。これをもとにしまして、事務局でできれば更新をしていきたいと考えておりますけれども、場合によっては更新についても業者に委託することも考えております。更新につきましては、会議の予定が決まったらすぐに載せるとか、会議の結果が、先ほど議事録等できましたら、できるだけタイムリーに掲載していきたいというふうに考えております。

お手元の資料をごらんいただきたいと思いますが、表のところがトップページということで、ここが一番最初の顔みたいなところです。ここで新着情報とか右側の方でお知らせとかということで、最近の状況、すぐにお知らせしたいことを載せさせていただきまして、左の方の地域の会とか、活動状況、会議報告、広報誌紹介、お知らせ、ご意見、お問い合わせ、リンクというところで、個々の内容を詳しく説明するようになっております。

この中で特に、ご意見、お問い合わせということで、この真ん中辺のところにくっつけていただきますと、ご意見、お問い合わせのフォームがありますけれども、特に一般市民の方からご意見をお寄せいただく場合は、特にお名前とか住所とか、電話番号、匿名の投稿、お問い合わせみたいなものではなくて、きちんとしたこういう形でご意見、お問い合わせをいただきたいというふうに考えております。ご意見、お問い合わせにつきましては、また会の委員の皆さんにお知らせするとともに、これに対する回答等もきちんと行いたいというふうに考えております。それからホームページの方には、タイムリーに載せられるということが一つ利点がありますけれども、詳しい情報も載せられるということで、議事録なんかもボリュームは結構多くなると思いますけれども、議事録や資料もきちんとそのまま載せることができるというふうに考えております。以上でございます。

市民生活部長（品田）

ありがとうございました。ここで切らせてもらって、資料を配るのを忘れておりました申しわけありません。あとから追いかけて、会議録、情報誌、ホームページの説明をさせていただきましたが、要するにそこに書いてある、今の発言の内容はそれでございます。というようなことを、きちんとどなたがどういう発言をしたかというのも含めまして、会議録は出したいということでもあります。情報誌も2カ月に1度程度出したい。ホームページはタイムリーにやっていきたいということでございます。これは事務局の方で対応をさせていただこうというふうに思っております。

ということで、ここまで何かご質問、ご意見はありますか。

もう一つ広報委員ということで、少し今の広報誌とか、情報誌とか、ホームページをつくれとか、原稿を書いてくれとかというところではありませんけれども、要するに会議録が正しいとか、偏りすぎているのではないかというようなことを、この皆さんの中で、目線で見させていただきたいということで、広報委員を設けて、やっていただければありがたいと思っております。これは、私らが考えておりますのは、そういう仕事をしてもらうということで、この委員の皆さんが1年交代とかあるいは場合によって全員で持ち回りで、2カ月に1度ずつそれをやるというようなことでもいいのかなというふうに思っておりますけれども、当面そういった出すもののチェックをする広報委員みたいなものを設けた方がいいのではないかと、より客観的な情報提供ができるのではないかというふうに思っておりますけれども、そんなものは必要ないのだと、事務局に一任だということであれば、またそれも一つでありますので、我々はあった方がいいなというふうに思っております。ちょっとそこら辺のご意見を伺えればありがたいと思います。

原発反対刈羽村を守る会（武本）

私は必要だと思えます。それからその理由を言いますが、このカラーのやつを見て、説明では事務局が外注したために不適切なという話が半分見えるのですが、例えばこれがいつできたかみたいなことから、実は不信を持っておりまして、こういうところへ出る前に、それぞれの立場、いろいろな立場があるわけですが、お互いにチェックする必要があるのだらうと。一番大きな透明性を確保する地域の会というのが直っていながら、上のボールペンで消した安全性が残っていたり、4月1日のところが直っていなかったりみたいなことがありますので、これが不適切だということだというふうに理解はしますが、何か表に出る前にそういうチェックは必要なのだらうと。そしてお互いに責任を持たなければならないのだらうと思えますので、今言う、広報委員というのはそれぞれの立場を代表するような形で、持ち回りも含めて、あって、そこが一定の責任を持つということは必要だと思えます。よって、そういう組織にしてもらいたいと思えます。

市民生活部長（品田）

ありがとうございました。誤解はないと思えますけれども、これはダミーですので、そういう目でござんいただきたいと思えます。

という意見でございますが、ほかには。

ある意味ではかなりシビアに見てもらわなければならないのだらうと思えますし、そうかといって、それが余り負担になって、一晩も二晩も徹夜しなければならないというようなことでも困るのですが、多分そういうことにはならないと思えます。事務局、相当しっかりやるつもりでありますので、今言ったように、ちょっとしたうっかりもありますし、さっき言いましたように、プライバシーの問題とか、そういったものがあるようなところが我々で気づかない部分を少し多い目で見させていただければありがたいと思っておりますので、いかがでしょうか、設けさせていただきたい、それぞれでまた分担をしてチェックをかけて、皆さんに負担にならないようにまた割振るといいますか、させていただこうと思っておりますので、これはご理解いただきたいなというふうにぜひ思うのですが、いかがでしょうか。よろしいですか。

委員全員

けっこうです。

市民生活部長（品田）

ありがとうございます。

人選については、特に皆さんの方からご提案があれば承りますが、なければ私どもの方なるべく平等にいくように、かつまたこういう言い方も難しいのですが、一方に偏しないようにといたしますが、行政用語でいいますと、そういうふうに5人ぐらいを少し選ばせていただいて、1年単位で、この中から5人選ばせていただいて、それを全員が全部1回ごとに5人が集まるとか、見るのではなくて、そのうち3人ずつ持ち回りで5人の中で1年間回していくと。やってみて、とても大変だということであれば半年でまた変えるとか、そういう5人を選んで、その中の3人が今回の広報はその3人が見る。次の広報は4番、5番の人と1番の人がまた見る。これをサイクルでやるというあたりを考えております。あるいはもっと単純に持ち回りで3カ月、6カ月目、9カ月目ということでもいいのですが、そこらは特に意見がなければ、私どもの方で割振りをさせていただきますが、ご了解いただけますでしょうか。

よろしいですか。申しわけありません。そのかわり、まだ実は人選はしておりませんけれども、当たりましたら絶対俺はいやだということのないように、ぜひお願いをしたいと思います。責任分担ということで、ぜひご理解をいただきたいと思います。

それから3番なのですが、今後のテーマの進め方ということで、4番ともちょっと絡まってくるのですが、次の会議ですけれども、予備会議はこれで十分だと思います。第1回の定例会、発会式ですね、初回をやらせていただきたいということで、日程もお諮りをしなければなりませんし、どういうことを第1回にやるのだということなのですが、これも大変お役所的だとしかられるかもしれませんが、やはり第1回でありますので、各市町村長は出ていただきたいというふうに思っておりますし、うちの市長もぜひ行ってごあいさつをしたいというふうに申しております。そういったこともありますので、言葉は悪いですがけれども、発会の儀式というのがあるのかなという感じがします。それだけではいかがなものかというふうに思いますので、何か話題について、意見交換する、ご議論をするという場も当然しつらえたいというふうに思っております。

そうはいいながら、実は先ほどから皆さんのご意見もありましたように、私もこの原発の専門家ではないわけなのですけれども、原子力発電所というものに対するご理解がなかなか同じレベルに達しているとはいいいがたいという問題があると思うのです。大変失礼な言い方だと思うのですが、そういう意味では皆さんの方からご要請があれば、若干の研修カリキュラム的なものも用意をし、例えば次回はそこらのことから入るということも可能であります。そういうことも場面によっては必要なのかなと。それから今後最初の、例えば第1回、第2回を集中的に研修をするとか、そういうことではなくて、またやりながら合間に研修とか現地を見ていただくご要望があれば、そういったものも取り混ぜながらというふうに思っておりますけれども、とりあえず次回、どういった内容にすればいいかというのは正直具体的なテーマ、これとこれとこれがありますねというのは、事務局として特にきょうお示しするものはございません。ということで、準備会でも次回のテーマは、次は何をするというのは少し議論して、みんなで決めようではないのという話になっておりますので、丸投げのような格好で、大変はずかしいのですけれども、今言ったそういう日程とか、第1回の意味合いとかというのも含め、あわせて少し目線をそろえる必要があるのかなというよう

なこともあって、ちょっといろいろなお考えがあると思いますけれども、ご意見をいただきたいなと思います。

柏崎商工会議所（内藤）

部長の説明が回りくどいというか、奥歯に物が挟まっているようなふうを感じるのだけど、原子力発電所に対する、私もそんなに人様に言えるほど立派な勉強なんかしていないのだけど、何回か発電所の中にも入れてもらったりしているけど、通り一遍の、ごく一般的な目でしか見ていなかったのですけれど、今回こういう東電の不正事件等も出てきたものだから、もうちょっと今まで真剣ではなかったというわけではないのだけど、もうちょっとしっかりもう一度見てみたいという気がするもので、できればこの会の会員の方々と一緒に、まず現場をきちっと見て、いろいろなお考えがあると思うから、見た結果いろいろな感想も出ると思うし、そういう所感も出てくると思いますので、まず現場をみんなで、一人一人が勝手に行くよりも、できれば全員が一緒というわけに行くかどうかわかりませんが、日程を2つぐらいに分けてもいいのですけれど、みんなで現物を見ることから、それが第一回になるのか、その事前になるのかわかりませんが、まずそこでそれこそ目線をそろえるみたいなきちんとやってから、第1回に入っていく。次の回に入っていくということが私は大事ではないかなと思っております。みんなで一度見学して、こういう体制で、なぜそんな不正が起きたみたいなきちんと、そういうイメージを持つ方もいると思うし、いろいろな見方があると思いますけれども、それはそれでいいと思いますが、とにかく現場をみんなで見ることは私は大事ななというふうに思いますので、そういうものを取り入れて、初回にできるだけ早いうちに取り入れていただきたいと思います。

柏崎刈羽原発を考える地域連絡センター（宮崎）

連絡センターの宮崎と言います。おそくなりまして申しわけありません。

テーマの件なのですが、私としてはこの地域の会議が早く発足して、市民が言いたかったことを、みんなここで早く出したいという気がしていました。今、運転再開のことが話題になっていますので、私としては何をこの地域で問題にしたいのか、運転再開に当たっては安全性という問題について何が問題なのかということをお早く浮き彫りにして、それぞれ行政とか、事業者に聞いていきたい、あるいは言っていきたい、それこそ提言したいことが待っているのではないかと思います。

それで私の提案としては、各参加者、委員の皆さんからこのたびのこの再開に当たって、安全性の問題、心配しておられる提言なるものをそれぞれが出していただいて、それをだれが整理するかというのはちょっと問題ですが、今考えているのは事務局で整理していただいてそれをまた出していただく。それをこの皆さんに公開した中で、順番をつけるなり、選ぶなりして、早急にそれぞれの提言に対して、皆さんがそれぞれまたどういうふう考えているかということをおどんどん出すようにしていただきたい。そういうことが、また急がれている運転再開という問題について、慎重な私たちの会の取り組みにもなるのではないかと思いますので、早急に各委員さんがどういう提言をしたいと思っておられるのか、集めていただきたいというふうに思っていますが、いかがでしょうか。

市民生活部長（品田）

今の確認をさせていただきますけれども、次回のときまで、例えばアンケートとは言いませんけれど、ご意見を再開に向けた安全性は大丈夫なのかというのを、そういう例えばテー

マにして、皆さんの意見を集約をするなり、列記するなりして、それについて意見交換をしようというご発言ですか。というふうに理解していいわけですね。

柏崎刈羽原発を考える地域連絡センター（宮崎）

そうですね。

市民生活部長（品田）

ただ、ご趣旨はわかるのですけれども、なかなか時期をいつにするかというのもあるのですけれども、いろいろな意見はそこで当然出てくると思うので、それはそれなりに意義があるのかなという感じがしますけれども、まとめるほうは大変だなという感じはしますね。

私どもが心配していますのは、いきなりそうゆう風に入っていったときに、本当にかみ合った議論といたしますか、素朴な意見という失礼ですけれども、初歩的な、例えばこの前東電さんがやったように、40何件の質問とか、ああいったたぐいのものが出てくるのだらうと思うのですけれども、いろいろな内容の問題がありますけれども、そういったことを初回からそれをやるのは、やや正直心配ではあります。

それでもいいのだということであれば、また皆さんの意見がそうであれば、また一つの意見として尊重しますけれども、含めてご議論をいただければ……。

柏崎刈羽原発を考える地域連絡センター（宮崎）

これは私の意見ですから。

市民生活部長（品田）

私が余りそれに対してコメントするのもいかなものかということです。申しわけありません。

柏崎原発反対地元三団体（佐藤）

今、実は内藤さんがおっしゃったことも、それから宮崎さんがおっしゃったことも、実は両方ともよくわかるのですが、それぞれちょっと問題があるのではないかと思うのです。というのは、今まで現地を見にというのは、東京電力さんがとにかく安全だというのは、現場へ来て見てもらうのが一番早いのだよということが、現場へ皆さんを入れて大勢の人に見せるということが従来の建前だったわけです。そこから行くと、まず現場というのが果たしていいのかなというのが一つあるのと、もう一つは、宮崎さんが今おっしゃったように、いろいろな議論を早くしないと大変ではないかと。知事さえ、保安院の説明は他人事のように言っているのに、そういう議論をしないでどうするのだというのも、それは気持ちとしてはわかるのですけれども、余り急いでそちら方の議論に入っていってしまうと、何か今後消化不良を起こすのではないかという感じがするのです。どういうことかということ、一体再循環ポンプというのはどんな役目を果たしているのか、シュラウドというのはどういう役目を果たしているのか、あるいはA B W RとB W Rはどこが違うのかというような話が、実は共通の認識としてあるのか、ないのか、私失礼な言い方なのかもしれませんが、そういう初歩的なものを、まずは一度みんなで勉強する。私はわからないわけではないけど、そういうものを一定レベルまで上がって議論をするというようなグラウンドをつくるということは必要だと思うから、そういう意味で研修というふうに書いてあるのですが、そういうようなことをまずやってもらうと。そしてそのことははずかしい質問をしようが何しようが、きょうは大勢のマスコミの皆さんがいるが、そういう勉強会にはご遠慮願うということで、ひとつ何も恥ずかしいことはないのだということで、少々わからないことは遠慮なく聞くと

というようなことをやらないと、なかなか共通の場での議論ができなくて、消化不良を起こす場合も出てくるのではないかなという感じが、実はしているのです。

ですから、まずは何よりもそういうことをやってほしいなど。その上にだんだん積み重ねていく議論、あるいは現場を見るということが必要だとすれば、現場を見るということだって大切なことだと思うのです。例えば、再循環配管だとか、そういう関連する配管を100%見るということが簡単に出てくるけれども、実のことを言うと、手さえ入らないようなものすごい放射線レベルの高いところで、しかも検査するのが大変だなどというところがあるのだそうだと。そこを見せろということになるのかどうか分かりませんが、そういう話になっていかないと積み重ねた議論にならないのではないかなという感じがするものですから、ちょっと申し上げさせてもらいました。

市民生活部長（品田）

ありがとうございました。渡辺さん。

西山町（渡辺丈夫）

先回も申し上げましたけれども、またこの新聞にもきちっと書いてありますが、再発防止対策についてという中に、品質保証システムの改善を行いますとうたっています。そこで私が知りたいのは、品質保証マニュアルが従来あったのだけれども、そこで見直しをしましたということをおっしゃいますから、従来に比べて何が問題で、これを見直しましたと。このところを説明していただければ、システムについて多少わかってくるのではないかと思います。

また、そこには品質保証マニュアルですから責任と権限も必ず明記されていなければおかしい話ですし、そういうことと、これはマニュアルについての話ですが、不適合管理委員会の設置ということになりますと、新たに設置した様子に伺いますし、品質管理監査部の設置というのもそのように見受けますが、従来あったのか、なかったのか、なかったためにそういうふうな見過ごしがあったり、あるいはルーズな対応でこういうふうな問題が起こったのか、この辺きちっと東京電力さんでそういうふうな仕組みがあった、なかった、あるいはあったけれどもこういうふうに見直さなければ、こういうふうな再発防止につながらないというふうな部分が当然あったのだらうと思いますから、この辺のところを私は聞きたいと思っています。

市民生活部長（品田）

本間さん。

プルサーマルを考える医師歯科医師の会（本間）

この原子力発電所の透明性を確保する地域の会というのが、生まれたいきさつは皆さんご存じのとおり、東京電力の不祥事があって、それは非常に困ったことだということで、東京電力さんがある種不祥事の解決手段の一つとして提案されたわけですね。それでは東京電力主体では話にならないだろうということいろいろいきさつがあって、こういう形になっているわけですが、ある種、東京電力が発電所の運転を再開するに当たって、市民に対しての健全性の保障、透明性の保障をするための会であるわけです。その会がまだ準備会の段階で、既に電力会社の方は運転再開に向けて話が出ているということに私は非常に、本当にこの会を東京電力として尊重していく気があるのかどうかということに、非常に大きな疑問を持っているのですけれども、今幾つかご提案がありましたけれども、そういう中で

運転再開が近いからどういう解決策がどうのこうのという話が出ていますけれども、そうではなくもっと原点に返って、この会が生まれたきっかけである東電の一連の事故隠し、そういうことは一体どういうことで行われて、そういうところから、一体どこで、どういうことが行なわれて、今回のような数年にもわたるようなことが行われてきたのかということをもまずきちんと説明してもらって、そこからスタートしないと、東電の不祥事があって生まれた会が原子力発電所がより安全に運転されるようにということでも集まっても、電力会社のペースに合わせていっていたのではまずいと思うのです。ですから、要するに一番発端となった問題について、きちんと説明をしていただいてから、また次のことを考えていった方がいいのではないかと思うのですけど。

市民生活部長（品田）

わかりました。ありがとうございました。

ほかにございますか。武本さん。

原発反対刈羽を守る会（武本）

私は3月10日に保安院の中間報告が出ました。健全性評価委員会の中間報告が出てから、3月末にかけて矢継ぎ早に説明会がありました。この説明会、次回の説明会も含めて、地域がなるほどなというふうな段階にっていないと、実は思っています。そういう中で、現状認識ですが、1号から5号というのは私はしばらくは私は動かせられないと思っています。しばらくというのは、今日、明日という話ではないという意味で、何カ月か時間的な余裕があると思います。しかし、6号それから7号については、私の立場からという前提で言いますが、不正事件の教訓も踏まえないで、今までどおりの検査で再開しようとしていると思うのです。そういう中で、先ほど来の話のように、こういう会ができたわけです。何か保安院も東京電力も3月にやったような説明会はまだ考えていないような話が出ています。よくわかりませんが、そうすると、ああいう説明会をこれぐらいの規模で一定の回数を重ねて議論を乾かす必要があるのではないかと。それが1回目かどうかは別ですし、あるいはここでそういうものを設けようということを行うということでもいいのですけれども、透明性を確保するあるいは原発が裸になって説明をするという場所が十分なのかどうかということも議論することは、再開前にどうしても必要なだろうと思うのです。そういうことが現実的に今の東京電力の再開日程に合わないような形で議論されているのは、おかしいと思うのです。そういう意味で、いつだかはわかりませんが、速やかにそういう場をつくる、そしてそれがもしかすれば発会式であり、1回目の会議ぐらいはそういう議論をする場になるのではないかなという感じがします。やらなければならないことは、いろいろな問題があるということはわかりますが、そうはいっても現実のスケジュールに合う形でこの会が機能しなければ、何をやっているのだという批判が出てくるだろうと思うのです。そういう意味で、いろいろな立場の人がいるということも含めて、8月末に問題が起きて、いろいろなことがあって、今日まで来て、そしてまもなく再開したいというようなことがいろいろなところから漏れてくる中で、現実に対応できるような機能をここが持たないでどうなるのだという思いがあります。

原発問題を考える刈羽西山住民の会（中沢）

刈羽西山住民の会の中沢と申しますが、私は先日の国の説明会のときにも質問したのですが、今回のトラブル隠しを受けまして、東京電力の自主点検作業の総点検結果の報告

というのが報道されているのですけれども、その内容なのですが、新聞公告の報道、東京電力の公告内容と、それから新聞の記事の内容がちょっと食い違っているというようなことがあります。ちょっと私それについて質問したのですが、東京電力さんの方ではこういったトラブル、結果の報告について非常に隠しているというような印象を私は受けているのです。というのは、この文章の中で、非常に法令違反はなかったということなのですが、行政当局へ情報提供を行うことが望ましかったと考えられるものもありませんでしたという、これが新聞の公告なのですが、実際には国に報告すべきだった事象が11件もあり、そのうち刈羽柏崎原発は3件あったと。そのほか記録漏れとか、記載ミスとか、そういうのが73件もあったというようなことなのですが、こういう東京電力さんの公告にはそういったものが一切載せられていないわけです。非常に隠しているというような、今でも何かごまかされているというか、そういった印象を私は受けるのですが、住民に対して情報を正確に伝えるというか、そういうものが少しおかしい状況にあるのではないかなということで、私たちもどれが真実なのかというのがよく私たちが迷わされるというか、それが大変問題なのではないかなと思います。やはり私たち監視するというか、この地域の会の原発を監視するというような目的を持っているわけですが、こういったことが非常にあいまいな状況になっている中で、非常に監視したりできるかなというようなことで、まずこら辺の問題から、私も勉強不足で申しわけないのですが、今いろいろ法律が改正されていると思うのです。原子力関係法法令の改正ということで、電気事業法とか原子炉等規制法の法律が一部改正されたということなのですが、これらの事象についてどこまでが法的に国に報告すべきものなのか、どこまでが国に報告しないでもいいのか、そこらのことが非常に私は詳しいことが勉強不足でわからないので、ぜひこら辺の細かいことについて、そこら辺を勉強するというところで、これからのテーマについて、そこら辺をテーマとして持っていただきたいなというふうに思います。

以上です。

市民生活部長（品田）

いかがでしょうか。どうぞ。

西山町（加藤）

きょうは発言をしないでおこうと思いましたがけれども、ものがしゃべれるほど当事者意識というか、知識もありませんし、多分ずっと考えてきた方にすれば当然のことも知らないし。先ほどそういうことについて教を1、2回受けながら議論ができるだけのものを得てからしゃべると。今、聞いていますと、こういう会、別にそういうことをしなくて、何回かやっていただければ、出席しているうちに自分も当事者としての認識も持ちますし、責任も果たせるかなと、今考えているのですけれども、大変申しわけないのですけれども、出てからの考え方ですので、全然自分は当事者意識が余りなかったと。知っていながら、いながらわからなかったと。でも私は多分、かなりの人がこういう感覚ではないかなと思っていますので、一生懸命になっている方には申しわけありませんけれども、こういう会がもう1、2回あれば自分の中で問題意識は出てきますし、それに対してのベースも上がってくると思うので、自分の無知蒙昧を払ってもらえるチャンスかなと思って、今聞いていましたけれども、そんな思いで聞いている方もいらっしゃるのではないかなという発言です。

市民生活部長（品田）

せめて1回ぐらいは発言してお帰りいただきたいと思いますけれども。

刈羽村商工会（丸山）

今、加藤さんが言われたとおり、私も正直言ってレベルが全く下で、今話している自体、有無を言えるような段階ではないという部分で、まずレベルまで上げることが大変かなという部分が自分の一番の悩みのところでございますので、まず自分なりにその辺で勉強する部分が一番大事なことだと考えております。

市民生活部長（品田）

田辺さんどうぞ。

柏崎ニューエネルギーリサーチ（田辺）

私は準備委員会からなのですが、今先ほどの本間先生の話から、別の発言された方の話を聞きますと、もう1回少し温度差といいますか、それがあるのではないかなと思いますので、もう少しまた最初に戻るような感じなのですがすけれども、少しやらないとだめかなというふうな感じがしますけれども、いかがでしょうか。

市民生活部長（品田）

女性群、どうですか。

かしわざき男女共同参画プラン推進市民の会（新野）

私も後発の準備会に出ていないメンバーですので、皆さんの顔を半分ぐらい存じ上げているのかなという程度なので、気心が知れなければしゃべれないのではしょうがないのでしようけれど、もうちょっとフットワークを軽くしていただけるとありがたいなと思いますので、加藤さんの意見にちょっと賛成なのですが。

それとこの会がただおしゃべりの会ではなくて、はっきり目的があるわけですので、本間さんがおっしゃったように基本に沿って1、2回フットワークの中に基本的なものを入れていただくと、背骨が少しできてくるのではないかなと思うのですが、いろいろな考えやいろいろな状況に皆さんおありなのでしょうけど、どこか共通の部分が少し出てこない、という発言というか、どこまで発言すべきなのかなというふうに、一々引っかかってしまうのでよろしくお願ひしたいなと思います。

市民生活部長（品田）

浅賀さんどうですか。

プルサーマルを考える柏崎刈羽市民ネットワーク（浅賀）

やはり最初に返って、透明性を確保する地域の会という原点に戻りまして、テーマを決めていったらいいかなとは思いますが、本当にメンバーお1人ずつの、私もまだそれぞれ仕事を持っていて、一つはとにかく発電所が隠していたということ、それを国がまたさらにもというような問題を、私たち住民はどうなるのだろう、ここに隣接に暮らしている一人一人はどうなるのだらということに不安を持っているわけですから、やはり皆さんメンバーそれぞれお考えもあるでしょうけれども、原点に戻って、私もきょうが初めてですので、ぜひその辺から始めていただければありがたいとは思っています。

連合柏崎地協（渡辺五四六）

私もこの出発がいろいろな情報を明らかにして、その中で多くの皆さんの原発に対する安心というのを求めていくということにあったというふうに思いますので、そういうところでは、次回のテーマということになれば、この地域の会が生まれる原点はトラブル隠しにあったというふうにも言えると思いますので、そのあたりをもう少し総体的にこの中で話

を出していただくといいというのも一つの、その中でまた自分のわからないところというの  
ですか、さらに自分として知りたいところが出てくるのではないかというふうには思います。  
以上です。

西山町（高橋）

今、渡辺さんも言われましたように、業者、要するに東電と地域に住む住民とつながりがあるわけなのですが、我々は安全性だ、透明性だとか、そういう言葉を今まで使ったのですが、それよりも我々が安心して生活できるという原子力発電所があそこにあっても、そういうことがこの会が求めているものだと思うのです。

したがって、私は、先ほど佐藤さんが言われましたレベルを下げて勉強会と、そういうことを言われましたけれども、私はまず東電から来てもらって、先ほど言われましたようになんだあんなことまで知らなかったのかというような質問までぶつけて、そして間々、少しずつでもレベルアップの足しになればなと思っています。ただ、その説明会があったその答弁よりも、突っ込んだ答えは出てこないのではないかと思いますけれど、知識の浅い私なんかにしてみれば、その方がありがたいかなというふうに考えています。

市民生活部長（品田）

遠慮しないでどうぞ。

西山町（加藤）

責任ある発言ということをやったてありますので、それにつきましては責任を取るということであれば、自分の中に正しい情報と考え方を持たなければ、大人ですから発言はできませんので、チャンスをもらわれないとずっと発言できないままいくのかなと思っていますので、非常に自分の不勉強を勘弁してくれというわけではありませんけれども、チャンスをもらいたいと思っていますので、ご配慮をお願いしたいと思っています。

以上です。

市民生活部長（品田）

いかがでしょうか。積極的にマイクを奪ってください。

柏崎エネルギーフォーラム（川口）

正直言って、この会に出ている人たちというのはそれぞれレベルが、レベルという言い方は失礼かもしれないけれど、違ってくるのではないかなと思いますけど、この会の目的というのは一般の市民というか、一般の人たちがわかりやすくすることが一番の目的なのではないかなと思うので、まずは基礎的なところから入って、その中で本当に素朴な質問から出てきた方がかえって、本当に今まで関心がなかった人が、今回こういうことがあってどうなったのだろうという人が見ても、スタートからわかるような感じの会にしていってもいいのではないかなと思います。

市民生活部長（品田）

ありがとうございました。いかがでしょうか。まだご発言をなさっていない方がいらっしゃいますけれど、よろしいですか。

時間も予定した時間では30分ぐらいなのですが、いろいろご意見ありがとうございました。それこそ皆様のご意見、それぞれ、それぞれが正しいなというふうに思いながら聞かせていただいております。

大きく言いまして2つか3つぐらいに、今ご発言を聞いていますと、レベルを上げるとい

いますか、目線をそろえるような研修も含めた、あるいはやりとりをしながら、それからみずから高めていくというテーマといたしますか、場から入っていった方がいいのではないかと  
いうご意見が一つあります。それからこの会の発足に至ったことの原点に返って、どういう  
問題があったのだろうかとか、その後東京電力はそれに対してどういうふうに取り組んでい  
るのか、法律改正もあったようだけれども、これはどういうふうになっているのだと。そこ  
らを素朴な疑問も含めて東電から説明してもらったり、取り寄せてはどうかというご意見が  
あったと思います。もう一つは現実的に、今再開というような話もあるとすれば、そこらに  
適切にタイムリーに対応すべきだという議論がされてしかるべきではないかというご意見も  
ございました。あるいは提言も含めてやるべきだというご意見もあったようであります。ほ  
とんど共通しているのは、私がお聞きしてしまして大変僭越ですけども、この会の趣旨はご  
理解いただいた発言だなというふうに思っております。どれをとっても次回のテーマとし  
ては上げるべきものだろうというふうに、いずれもふさわしいものだというふうに思うわけ  
であります。

それで、今ここで「品田、おまえが決める。」ということであれば、私の方で決めさせて  
いただきますし、それからこれ全部、一度に今言った3つとか、4つとかのことをできない  
と思います。ご一任をいただけるのかどうか、それとも持ち帰ってもいいですし、私の方で  
今ここでこうしようというふうに提言をさせていただいてもよろしいのですけれども、私は  
どうだと言われれば、今この会が発足をした原点に戻って、どういうところに問題があっ  
たのか、それに対してこの半年間でどういうところが変わって、今どういうふうに東京電力  
さんを初めとして動こうとしているのか、特に東電さんだと思うのですけれど、それがどう  
なって今の現状がここに来ているのか、例えば点検の状況とか、そういったのを少し直近の状  
況として理解をしていただくというのが次回としてはひとついいのかなと。その前提とし  
まして、当然現地を見るということも必要な場面も出てくるでしょうし、シラウドとい  
うのは何なんだというようなことから説明をしていただかなければならない場面もあるか  
もしれませんが、次回はさっき言いましたように、例えば2時間としますと後半の1時間  
ぐらいがそれに当てられるわけです。それで全部説明し尽くされるというふうにはと  
ても思いませんけれども、またその次の回を1カ月間をおかなくても少し早めにやる  
というようなことで、今言ったようなことを中心に、この会の発足に至った問題の  
所在とか、現在の取り組みというのを、初歩的な今言ったシラウドとはどうい  
うものかと、どこに問題があったのだというようなことも含めて説明をし、意見  
交換をさせていただくということがとりあえずの段階としてはいいのではないかな  
というふうに思っております。そうしていく中で、それぞれに皆さん、認識の違  
いもあるでしょうし、そういつては悪いですが、知識の違いもある中で、それ  
ぞれのお立場の中で突っ込んだ質問をしていただく人があってもいいわけ  
ですし、そういうふうにしてまた次につなげていければいいなと思っ  
ているのですが、いかがでしょうか。

柏崎刈羽原発を考える地域連絡センター（宮崎）

賛成です。先ほど私、テーマなんてあせったようなことを言ってしまいましたけれども、  
確かに皆さんがどういう認識を持っているか、あるいはどんなところに問題を感じて  
いるのか、とにかくレベルを同じくしてお話し合いを進めない限りは、本当に提  
言、私は最初から言っているのですが、この中の提言というのはこの中の1人の  
会員がこうの方がいいと言

ってみてもあの方がだれも賛成しなければ何にも重みのないことになります。ところが1人の提言であっても、この中の皆さんがみんなそうだと言って一致すれば、本当に全国に通用する提言になります。そういう意味で、私があせったことを言いましたけれども、ぜひそういう学習会を通じて問題点を把握して、提言を一人一人ができるような状態にさせていただくに賛成です。

原発反対刈羽村を守る会（武本）

今部長が言った話で、1時間、1時間で2時間みたいな話があったのですが、こういう場所というのは9時とか10時になれば終わりですよ。そうすると説明があって、例えば東京電力の現状を報告、それに対する質問などという2時間では足りないのではないかという思いがありまして、それから駐車場みたいなことで、例えばこの事務局がある荒浜の広報センター駐車場はでっかいし、会議する場所もあるし、ああいうところでちょっと終わりの時間を、そんなに無制限には言いませんが、何回もできないのであればいろいろな疑問が乾くまで、質問に答えてもらうような場はつくれないものではないかというのを、検討してもらいたいと思っています。

市民生活部長（品田）

ありがとうございます。ご意見はそのとおりだと思いますので、例えば毎回、毎回は別にしましても、第1回は日中は皆さん仕事を持っているので来てくれとはなかなか言いにくいのです。しかもきょう6時半で言ったのですけれども、名前を出して悪いですけれども、渡辺さんなんか少し遅らせてくれればありがたいというのは多分この前もおっしゃっていたので、7時からになると9時が体力的にも限界かなと、皆さんはお若いからいいですけど、私はちょっと年寄りなものですからあれですけども、いずれにしても第1回もそうですし、テーマによっては場合によっては昼あるいはどうしてもという方は夜ということで2回に分けると、いろいろなどにかくバリエーションがあると思います。それから場所についてもできれば駐車場のあるところにしたというふうに思っていますので、そこも含めて少し場所と時間は工夫をさせていただきますので、承りましたということでご了解いただきたいと思えます。

それでは次回のテーマは、会の持ち方も含めまして少し案を練りますので、テーマといいですか、話し合いの話題はひとつにはそこらに今回はおければありがたいというふうに思っています。そういう中で少しずつ2、3回出るうちに一定の理解が進めばありがたいというふうに思っておりますので、よろしくご協力をお願いをしたいと思います。

それでは次回のなのですけども、申しわけないのですが、これも全く事務局の都合でいいますと、できれば連休明け、6日の週か12日の週ぐらいになるでしょうか、そのころにさせていただければありがたい。ここでいろいろ差し迫った問題もあるわけですけども、正直いいまして連休前というのは日程が取れません。連休明け、5月中旬までというようなことで、大まかな目安とさせていただければありがたいのですが、いかがですか。

よろしいでしょうか。また、詳しくは決まりましたらご案内をさせていただきたいというふうに思っております。

その他ということでレジュメにはありますが、何か皆さんの方からこの際だからというのがあれば。

よろしいですか。ちょっと早いですけど、きょうは予備会議ということでございますので、

メインのテーマはこれで実は終わりでございます。大変僭越でございましたけれども、議長  
不行き届きで申しわけありませんでした。

それから、会長の人事につきましては皆様のご意見がそうだとということでございますの  
で、持ち帰らせていただいて、次回のときにはお返事をさせていただきたいというふうに思  
います。

柏崎市防災原子力安全対策課長（酒井）

まだ15分ぐらいございますけれども、きょう始めての会ということでこの辺で終わりに  
させていただきたいと思います。

先ほどもありましたように、5月6日の週、あるいは12日の週を中心に日程を調整をさ  
せていただきますので、よろしく願いいたします。また改めてご案内を差し上げますけれ  
ども、きょうは本当にどうもありがとうございました。お疲れさまでございました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20時15分閉会・・・・・・・・・・・・・・・・